

『広島県病院事業経営計画（平成26年度～28年度）』の取組状況 に係る広島県病院経営外部評価委員会の評価報告書 【平成27年度の評価】

平成29年1月16日
広島県病院経営外部評価委員会
委員長 谷田 一久

1 広島県病院経営外部評価委員会

広島県病院経営外部評価委員会は、「広島県病院事業経営計画（以下「経営計画」という。）」の取組状況に係る点検・評価等を行う外部組織として平成22年5月に設置され、今年度は7年目になります。本委員会は医療、公立病院運営、経営等に精通した各分野の専門家を委員として構成され、公正に、しかも専門的な観点から広島県病院事業を評価しようとするものです。

平成27年度の経営計画の取組状況について、今年度は2回（8月、12月）にかけて議論し、次のとおり取りまとめましたので、ここに報告いたします。

2 評価結果の総括

第5次経営計画では、「医療機能の強化と患者サービスの向上」、「人材育成・確保、派遣機能の強化」、「危機管理対応力と経営力の強化」を取組方針としており、これに対応する様々な具体的取組項目と目標指標を設定し、計画達成に向けて取組を進めています。平成27年度は、計画策定後2年目の中間年に当たっており、初年度の成果や課題等を踏まえ、取組の加速化を図る年度です。

県立広島病院は、広島県の基幹病院として、救急医療、成育医療、がん医療を中心とした医療機能の強化をはじめ、医療人材の育成・派遣や災害医療にも貢献するなど、公共性と経済性を両立させて取り組まれていることを高く評価しました。

安芸津病院は、過疎化・高齢化の進展する地域にあつて、病気の予防から治療、在宅復帰に至るまで、地域と一体となって地域住民の健康を支える取組を進めており、住民から頼りにされる存在感のある病院を目指してチャレンジされていることを評価しました。

事業全体の収支面においては、3,500万円余の経常利益を計上する結果となりました。経常収支の均衡を旨とする公営企業としては一定の高評価をしますが、県立病院としての活動を自律的に維持発展させるためには、十分であるとまでは言い切れません。要因の分析と対策を講じて、安定した維持発展を可能とする経営の下で、県立病院としての役割を発揮されることを期待します。

3 評価結果

(1) 評価基準と評価方法

経営計画に基づき平成27年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行いました。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり概ね順調である。	計画の達成に向けた、具体的成果がある。又は目標を達成した。
○	ほぼ順調である。	計画に対して具体的に取組んでおり、一定の成果が認められる。
△	やや遅れている。	計画に対する取組はあるものの、まだ成果に現れていない。取組が不十分。
×	かなり遅れている。	計画に対して取組が行われているとは言えない。消極的。

(2) 各病院の評価結果

①- 1 県立広島病院の評価

経営計画に係る取組状況については、平成 27 年度は 13 項目の取組のうち、『◎（計画どおり概ね順調である。）』と評価した項目は 6 項目となり、昨年度より 2 項目増加しました。

経営計画において重点取組項目として設定した救急医療、成育医療、がん医療機能の強化については、困難事例の救急受入や NICU の強化、県民の信頼獲得を背景としたがん治療件数の増加など、積極的な取組の成果が着実に現れており、広島県全域を視野に入れた基幹病院として中核的な役割を果たしつつあると認められます。また、新たに開始した TQM 活動の取組など、医療の安全と質の向上へ精力的に取り組んでいることを高く評価します。一方で、患者満足度に十分に繋がっていない待ち時間対策や、費用合理化手法の透明性の確保など、課題を残した項目もあります。

目標指標 11 項目のうち 8 項目が目標達成し、未達成の項目についても前年を上回る高い水準にあることは高く評価できます。損益面においては 7 年連続の経常黒字を達成しているものの、資金面では 2 年連続赤字収支となっており、資金収支の安定化を図ることが今後の課題であります。

また、それと並行して、広島県の基幹病院として“広島県立病院らしさ”を示すべく、従前の取組に加え新たなチャレンジがなされることを期待します。

なお、取組方針ごとの委員会評価意見は別紙「評価表」に記載のとおりです。

①- 2 評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H27 ()はH26
評価結果『◎』とした項目	6 項目 (4)
評価結果『○』とした項目	7 項目 (9)
評価結果『△』とした項目	0 項目 (0)
評価結果『×』とした項目	0 項目 (0)
合計	(13) 項目

イ 取組方針ごとの評価

番号	取組方針	自己 評価	委員会評価 ()は H26
1 医療機能の強化と患者サービスの向上			
1	救急医療機能の強化	○	◎(◎)
2	成育医療機能の強化	◎	◎(○)
3	がん医療機能の強化	◎	◎(◎)
4	地域医療への貢献	◎	○(○)
5	医療の安全と質の向上	◎	◎(○)
6	患者サービスの向上	◎	○(○)
2 人材育成・確保・派遣機能の強化			
7	医療人材の育成・確保・派遣	◎	◎(◎)
3 患者サービスの向上と経営の効率化			
8	危機管理対応力の強化	◎	◎(◎)
9	経営力の強化	○	○(○)
10	増収対策	○	○(○)
11	費用合理化対策	○	○(○)
4 連携強化			
12	2 病院の協力状況	○	○(○)
5 決算、目標指標			
13	収支改善, 目標指標	○	○(○)
総合評価		○(◎)	

②-1 県立安芸津病院の評価

経営計画に係る取組状況については、平成27年度は10項目の取組のうち、『◎（計画どおり概ね順調である。）』と評価した項目は、昨年度から2項目減り、0項目となりました。

限られた医療資源の中で、地域ニーズを捉えた高稼働の地域包括ケア病床や退院者全員への電話訪問、防災などの危機管理対応にも関連する地域コミュニティとの連帯など、非都市部における地域医療提供モデルとなるべく、試行錯誤を繰り返しながら地域住民の健康を支える様々な取組を進めていることを高く評価します。一方で、安芸津病院の中核的機能とも言える訪問看護や訪問リハなどの在宅医療の取組は前年度実績を下回っていることについては、点検と取組の強化を求めます。ケアマネージャーをはじめとした地域の医療・介護関係者との連携在り方についても見直しがなされることを期待します。

目標指標については、9項目のうち健（検）診件数を除いた8項目が目標を達成できていません。未達成項目については、その要因を分析し、早急に対策が講じられることを求めます。

高齢化が進み、人口も減少している地域のモデルの構築という県立病院として役割を踏まえ、長期的視点に立って、地域の実状に合う形での機能変革とそれに応じた収支の健全化に努めることを期待します。

なお、取組方針ごとの委員会評価意見は別紙「評価表」に記載のとおりです。

②-2 評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H27 ()はH26
評価結果『◎』とした項目	0項目(2)
評価結果『○』とした項目	7項目(6)
評価結果『△』とした項目	3項目(2)
評価結果『×』とした項目	0項目(0)
合計	10(10)項目

イ 取組方針ごとの評価

番号	取組方針	自己 評価	委員会評価 ()は H26
1 医療機能の強化と患者サービスの向上			
1	医療提供体制の強化	○	○(◎)
2	医療の安全と質の向上	○	○(○)
3	患者サービスの向上	○	○(◎)
2 人材育成・確保・派遣機能の強化			
4	医療人材の育成・確保・派遣	○	○(○)
3 危機管理対応力と経営力の強化			
5	危機管理対応力の強化	○	○(○)
6	経営力の強化	○	○(○)
7	増収対策	△	△(○)
8	費用合理化対策	△	△(△)
4 連携強化			
9	2病院の協力状況	○	○(○)
5 決算、目標指標			
10	収支改善、目標指標	△	△(△)
総合評価			○(○)

広島県病院経営外部評価委員会 委員一覧

(敬称略)

区分	氏名	備考(職名等)
委員長	谷田 一久	(株)ホスピタルマネジメント研究所 代表取締役
副委員長	木原 康樹	広島大学副学長(地域連携担当)・教授
委員	塩谷 泰一	高松市病院事業管理者
委員	檜谷 義美	(一社)広島県医師会副会長
委員	平井 敦子	(株)中国新聞社 論説委員
委員	和田 頼知	有限責任監査法人トーマツ パートナー (公認会計士)

広島県病院経営外部評価委員会 平成28年度議事一覧

- 第1回〔平成28年8月18日(木) 於：広島県庁〕
 - (1) 経営計画の取組状況(平成27年度)について
 - (2) 次期経営計画の方向性について

- 第2回〔平成28年12月1日(木) 於：広島がん高精度放射線治療センター〕
 - (1) 経営計画の取組状況(平成27年度)の評価取りまとめについて
 - (2) 次期経営計画の方向性について
 - (3) 課題・必要な取組の意見等について